

皆さんの声を町政に

まちづくり懇談会

佐々木学町長との「まちづくり懇談会」が、10月15日から11月12日までの日程で町内24会場で開かれました。集まった町民は延べ293人。今年度は、これからのまちづくりとして「栗山赤十字病院の改築」についての意見交換を行いました。また、光回線の整備事業や新型コロナウイルス感染症対策など、町民の皆さんと懇談しました。



開会にあたり佐々木町長からあいさつ

※町ホームページから、懇談会の議事録や町からの情報提供資料を閲覧することができます。トップページ→「行政・まちづくり」→「協働のまちづくり」

栗山赤十字病院の改築

質疑 どのような工程で建て替えを行うのか。

回答 改築は栗山赤十字病院が実施するもので、町は病院整備方針を定め、改築の基本構想・計画づくりに参画し、改築費用について支援していく。現地建て替えの場合は、既存の病院の南側に新病院を建設した後、解体し、入院患者や外来診療に影響しないような工程を想定している。

質疑 建て替え予定の建物は延べ面積7200㎡とことだが、設計図面はできているのか。

回答 これから町が整備する病院整備方針を踏まえ、栗山赤十字病院が、改築の基本構想・計画を令和4年度までに作成する予定なので、それ以降に具体的な図面などができる予定です。町の現段階での方針案である12診療科、100床の規模であれば、3階建ての建物が想定される。

質疑 栗山赤十字病院から薬局へ行くのに道路を横断しないといけない。同一敷地に薬局を作ることはできないか。

回答 昔は院内で処方していたが、制度改正により薬の処方(医師)と調剤(薬剤師)を分けられたことから、現在の状況となっており、制度が緩和されて、病院敷地内に薬局を建てることは可能になったが、敷地面積の問題や薬局の移転などの課題がある。

町全体で新たな光回線の加入を進めていくこととしているが、詳細については、地域での説明会でお知らせをしていく。

栗山高等学校の生徒確保

質疑 農業科など特色のある学科はつくれないか。

回答 現在、栗山高校の生徒確保に向けた取り組みについて、検討を進めている。その中で「栗山高校の魅力づくり委員会」では、町民の皆さんと栗山高校を魅力ある学校とするための議論をしている。農業科をつくることや普通科の中で農業を学ぶことも可能ではある。そのようなことも含めて、議論している。

回答 北海道の公表のとおり、町内ではコロナ感染者の情報が入っていない(開催日時点)。もし、町内でコロナの感染があった場合には、誹謗中傷のないように周知徹底していきたい。

質疑 栗山赤十字病院のコロナ検査について、11月9日から、発熱者外来が運用開始になるが、検査の自己負担額は、いくらかかるのか。

回答 発熱などの症状があつて、医師の判断で検査を受ける場合は国が費用を負担する。自主的に検査を受ける場合は自己負担となり、PCR検査で2万5000円、抗原定量検査は1万円かかる。65歳以上の方が検査をする場合は補助制度を利用できる。

新型コロナウイルス感染症対策

質疑 町内でコロナ感染の情報ははないのか。

質疑 整形外科を午後も診察できるようにしてほしい。
回答 現在も町内の個人病院での診察は可能である。診療科や診察日・時間については、これから作成する病院整備方針で整理し、栗山赤十字病院にお伝えしていく。
質疑 診療科で、週に1日しかない診療科があるが、利用者からすると非常に通いづらい。
回答 診療科や診察日・時間については、これから作成する病院整備方針で整理していくが、医者確保など、課題がある。
質疑 現在の場所での建て替えが費用面では有効だが、旧栗山小学校のグラウンドを提案したい。通院の利便性、災害への対応、プールの水の生活用水への転用などが可能になると思う。近くに小児科・歯医者もある。

り、仕事や買い物徒歩圏内で足りる。車を使わないことを考えると一カ所にまとまっていて有効な敷地だと思う。
回答 建て替えの場所については、この機会にいろいろの可能性について検討していきたいと考えている。栗山駅周辺や角田地域などへの移転のご意見もいただいているが、移転する場合、現在の病院の解体費用が国の支援対象となっていないことから、その財源が課題となっている。
光回線の全町整備
質疑 光回線の整備はいつから始まるのか。
回答 光回線の整備はNTT東日本が国の補助金を活用し、町も一部支援をして進めていく。現在、補助申請をしているところであり、補助金が確定後、年明け2月ごろに町民皆さんへの説明会を予定している。